

発行 令和4年2月  
玉島北中学校区人権学習推進委員会  
事務局 倉敷市玉島北公民館  
倉敷市玉島八島 1773-10  
電話・FAX (086) 526-5315

人権だより 第57号

# ふれあい

11/10  
(水)

玉島北公民館主催、第2回人権教育講演会を開催しました。

一人ひとりが  
輝ける世の中に…

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、  
講演会の参加定員を限定して第2回人権教育講演会を開催しました。

今回は、発達障がいの当事者でもある瑠璃真依子先生をお招きしました。

前半は誕生から現在までのエピソードを、後半はご自身の“取り扱い説明”ということを通して、発達障がいについて学ばせていただきました。当時のスナップ写真をたくさん交えてくださっていたので、その場の情景がはっきりと浮かんできました。そして、最後には「命の大切さ」について、改めて考える機会を与えてくださいました。

瑠璃先生のお話を通して「発達障がいも個性」と、とらえられるような社会にしていくことの大切さを学びました。

◀ 小学校のときに書いた絵日記や新聞(写真①・②)。瑠璃先生の作品は、どれもカラフル。

「学校の先生は、『綺麗だね』と褒めてくれました。でも実は、何も書かれていない白紙の状態が不安だったからなのです。これが、何も予定のない休憩時間が不安で苦手だったことにも繋がっているのです。今も一週間のスケジュールを一時間ごとに書くこと(写真③)や、振り返りをしたり予定を確認したりすることも、心の安定に繋がるんですね。」

(講演会の内容より)

## 参加者の感想

「自分らしく生きる」ということは、人としてどのように生きていくのかが重要であるのだと思います。そして人を大切にし、つながっていくことが大切だと感じました。今日は、これから的人生に大切なことを教えていただきました。

発達障がいの入門編としてお話をうかがいました。

何かしてあげられることは、ないかというところまではまだまだ至りませんが、上手にお付き合いができるようになりたいと思いました。

身近に発達障がいの子がいます。接し方に戸惑うことがあります。

しかし講演を聞いて、発達障がいも個性であるということがよく理解できました。これからは歩み寄り、そばに寄り添えればと思います。

※令和3年度第1回人権教育講演会「活弁、その出会いと今」は、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館のため、中止になりました。

人権だより「ふれあい」は、各地区の社会福祉協議会・愛育委員会をはじめとした地域の方々のご協力により、玉島北中学校区全戸に配布しています。



長尾小 2年 渡辺 悠平さん



長尾小 5年 横田 柚衣さん



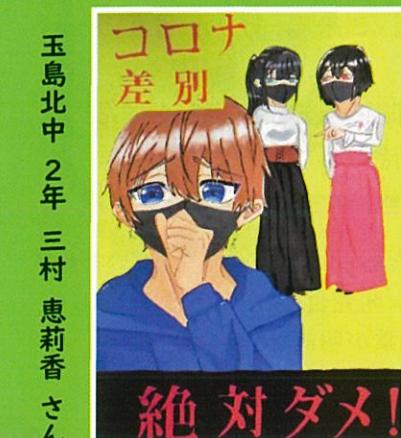
富田小 1年 橋本 湖白さん



富田小 5年 外山 優来さん



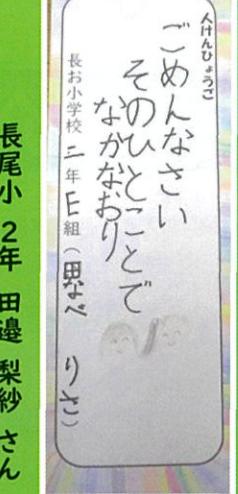
穂井田小 1年 中島 帆乃香さん



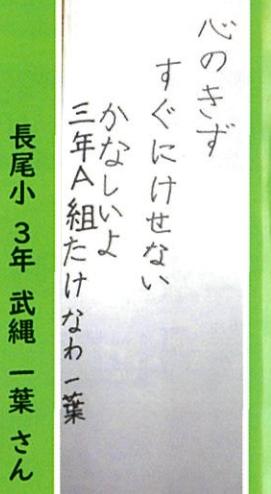
玉島北中 2年 三村 恵莉香さん

## 人権ポスター 標語展

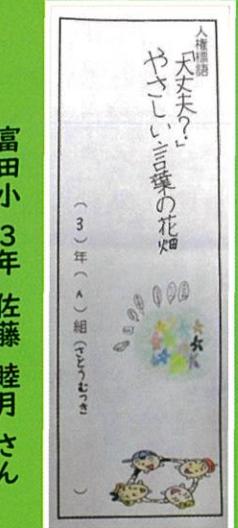
令和3年12月4日(土)~10日(金)に玉島北公民館で人権ポスター・標語展を開催し、ポスター55点、標語42点を展示しました。その中から、選定された作品を紹介します。素敵な作品をありがとうございました。



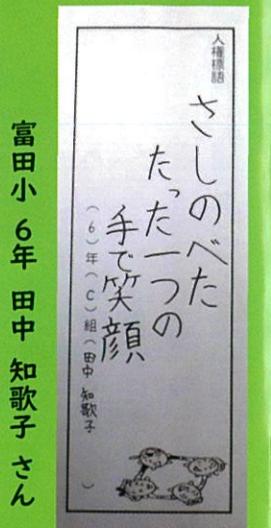
長尾小 2年 田邊 梨紗さん



長尾小 3年 武繩 一葉さん



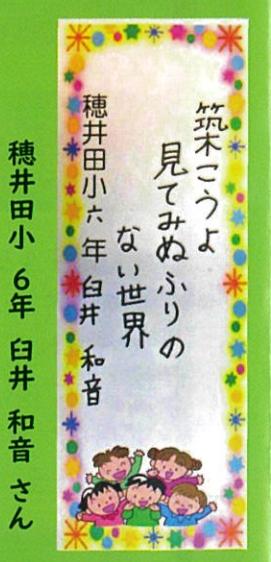
富田小 3年 佐藤 瞳月さん



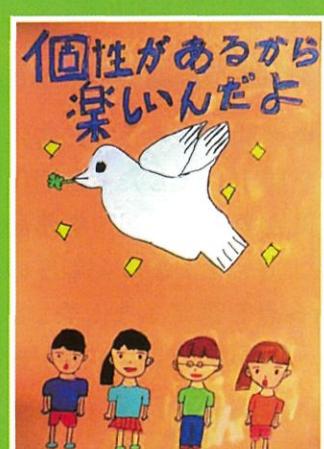
富田小 6年 田中 知歌子さん



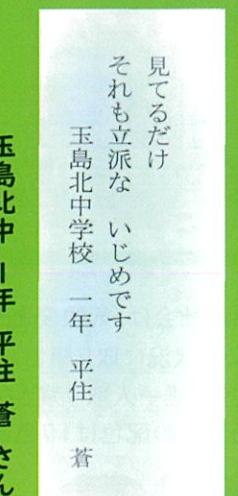
穂井田小 1年 市川 史織さん



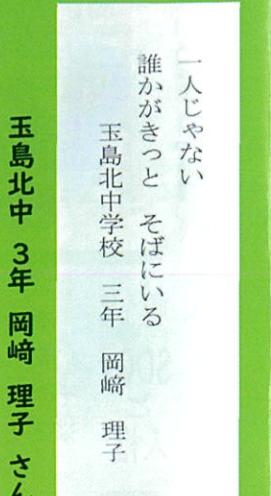
穂井田小 6年 白井 和音さん



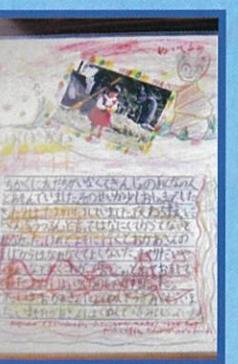
穂井田小 4年 梶谷 来夢さん



玉島北中 3年 岡崎 理子さん



玉島北中 3年 平住 蒼さん



(絵日記 ①)



(新聞 ②)



(スケジュール帳 ③)

## 参加者の感想

孫育てをするのに、目からうろこでした。静かに寄り添い、見守ってやる。

気持ちを大きく大きくもちこれから孫に接します。

「自分らしく生きる」ということは、人としてどのように生きていくのかが重要であるのだと思います。そして人を大切にし、つながっていくことが大切だと感じました。今日は、これから的人生に大切なことを教えていただきました。

発達障がいの入門編としてお話をうかがいました。

何かしてあげられることは、ないかというところまではまだまだ至りませんが、上手にお付き合いができるようになりました。

※令和3年度第1回人権教育講演会「活弁、その出会いと今」は、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館のため、中止になりました。

人権だより「ふれあい」は、各地区の社会福祉協議会・愛育委員会をはじめとした地域の方々のご協力により、玉島北中学校区全戸に配布しています。

# 地域でのふれあい・交流活動をご紹介します！

## 長尾地区

### ふるさと再発見ウォークラリー（11/23）

「よし、行こう。」「最初は右だね。」

今年も、第29回「ふるさと再発見ウォークラリー」を11月23日(勤労感謝の日)に開催しました。参加者は、164名、42チーム。地図(コマ図)を見ながら、問題を手に長尾小学校から出発していきます。問題は、交通問題10問(玉島警察署提供)、一般問題20問。コース内にある歴史や文化に関することや時事問題などで構成されています。学区のみなさんに楽しく、ためになる時間を提供したいという思いの中、新型コロナウイルス感染症対策を可能な範囲で実施しながら開催しました。



地域に興味をもち、地域を大切に思う心を養ってもらいたいと考えています。参加した方々からは「楽しかった。」「また参加したい。」「知らないかった事が分かった。」等の感想をいただきました。

参加者だけでなく、長尾地区社会福祉協議会を始め、地域の方々のご理解とご協力に大変感謝しつつ、今後もこの伝統ある行事を続けていきたいと思っています。

長尾学区青少年を育てる会会長 浅野 浩二さん



## 富田地区

### 富田地区打ち上げ花火（12/25）

予定時刻の18時30分。ヒュー・バン、バーンと色とりどりの花火が上がりはじめました。沢山の花火が富田の夜空を彩り、次々と鮮やかな花火が打ち上げられます。すると周りでは「わあ、すごい。」「すごいきれい。」など感動の声が上がってきました。間近で見る花火は爆発音と一緒に大きく花開きます。これにも感動。「また上がった、また上がった。」と喜ぶうちに、花火開始から20分がすぎクライマックスを迎きました。花火に感動して、見学の人々や車が帰りはじめて数分後、再びヒュー・バンと花火が上がりはじめました。おまけと表現するには豪華すぎる打ち上げ花火が数分間続き、富田の真冬の祭典は終演となりました。



花火が上がりはじめました。おまけと表現するには豪華すぎる打ち上げ花火が数分間続き、富田の真冬の祭典は終演となりました。

この二年近く、新型コロナウイルスの影響でいろいろなイベントが中止となり、気持ちの晴れない日々が続いています。でも、この花火で富田地区のみなさん的心にほんの少しでも晴れ間を届けられたなら、きっといいクリスマスプレゼントになった…かな。

富田地区社会福祉協議会 石原 学さん

## 穂井田地区

### 穂井田文化祭（11/7）

「穂井田文化祭」で、愛育委員会の「ミニ健康展」を実施しました。感染対策には、十分配慮しながらの健康展でした。参加者各自が除菌シートを手に、機材を消毒して測定、また消毒。そして次の人に。手間のかかる測定ではありましたが、みなさん不平不満も発せず、協力してくださった「ミニ健康展」でした。昨年度中止になっていましたので、「久しぶりじゃなあ。」「元気にしようたん？」の声と、あふれんばかりの笑顔が飛び交っていました。

また、隣の部屋では、所狭しと「日頃の腕自慢」の作品展示や小学校児童の標語の展示も大盛況でした。「憩いの場・集いの場」になっていたのだなど、とても嬉しい気持ちになりました。



例年なら、「餅つき」や「お寿司・味噌・焼き肉のたれ・コーヒー・ジュース」等々の販売、男性料理教室による「うどん食処」や楽しいお茶の教室による「お茶席」等々で賑わっている「穂井田文化祭」だったはずなのですが、それは、今年はかねませんでした。

来年度こそは、コロナ禍が終息して穂井田の住民がこぞって参加できる「穂井田文化祭」であることを願っています。

穂井田愛育委員会会長 森永 博子さん



### 人権ポスター・標語展を開催しました。

令和3年12月4日～12月10日

12月4日から12月10日の人権週間に合わせ、玉島北中学校区の小学校・中学校より届けられた作品を展示しました。会期に先駆けて行われた「令和3年度人権学習推進委員会第2回役員・事務局員合同会議」において、本紙4面に掲載する作品16点と、令和4年度の人権啓発用ポケットティッシュに掲載する作品6点を選定しました。どの作品からも、全ての人を大切に人権を守る思いや願いが伝わってきました。



▲役員・事務局員による作品選考の様子

会期中、延べ約130名の方が作品を鑑賞してくださいました。ご来場、ありがとうございました。

来年度も同時期に開催予定です。たくさんの方のご来館を、お待ちしております。

## SDGs と 人権 ハイライト

私たちの社会は、気候変動や資源の枯渇など地球規模の課題に直面し、将来安定した暮らししができなくなるといわれています。この状況に取り組むため、国連サミットで「SDGs（エスディージーズ：持続可能な開発目標）」が掲げされました。その前文に「誰一人取り残さないことを誓う」「すべての人々の人権を実現する」という言葉が明記されています。  
※2・3面上下の配色は17色あります。SDGsの持続可能な世界を実現するためのゴールの数（色）です。

